

令和6年度 学校経営の基本方針

北九州市立永犬丸中学校
校長 長瀬 雅美

1 学校の教育目標

生徒が自ら未来を切りひらくことのできる「生きる力」の育成を目指し、知「確かな学力」、徳「豊かな心」、体「健やかな体」を育む教育の充実に努める。

＜校訓＝具体的な生徒像＞

- 「知」＝ 自ら考え、正しく判断し、進んで学習や諸活動に取り組む生徒
- 「徳」＝ 思いやりの心を持ち、協力し合って集団生活の向上に努める生徒
- 「体」＝ 健やかな心とからだをもつ生徒

2 今年度の重点目標

生徒の安全に配慮しつつ、「確かな学力・健やかな体を育成する」、「心の育ちを推進する」、「意欲を高めて子どもの特性を伸ばし、社会に貢献できる人材を育成する」ことに重点的に取り組み、「信頼される学校づくり」を推進する。

3 重点目標達成のための具体的な取組

重点1 確かな学力・健やかな体を育成する

- 組織的・計画的な学力・体力向上の研究と取組
- 学習指導要領に沿った「指導と評価の一体化」と、信頼性・妥当性のある学習評価の実施（授業力の向上）
- 家庭と連携した生活習慣、学習習慣等、「学びの基盤づくり」の充実

重点2 心の育ちを推進する（いじめ・問題行動の抑止と迅速・確実な対応）

- ①自己実現を目指す積極的な生徒指導の推進
 - 組織的な生徒指導体制の確立と積極的な生徒指導の推進
 - 他者を思いやる心の育成や規範意識の醸成
 - 共感的な生徒理解に基づいた学級づくりの推進（計画的な集団づくり）
- ②確かな人権感覚を育み、人権意識の高揚を図る人権教育の推進
 - 人権尊重の精神に基づく、一人一人を大切にした学級づくりの推進

重点3 意欲を高めて子どもの特性を伸ばし、社会に貢献できる人材を育成する

- すべての生徒に対する特別支援教育の推進
- 望ましい勤労観・職業観を育成するキャリア教育の推進
- 掃除の励行、あいさつ、正しい言葉遣い
- ICT活用能力の育成と読書活動の充実

「信頼される学校づくり」を推進する

- 小中一貫・連携教育の推進（教員の合同研修・児童生徒交流）
- 学校評価（自己評価と学校関係者評価）による取組の振り返りと充実
- 永犬丸中学校区地域学校協働事業への協力（地域・保護者等との連携）
- PTA行事や地域行事への無理のない参加による保護者・地域との連携
- 学年・学級通信の発行と学校ホームページによる発信（※個人情報に注意する）
- 効果的な家庭訪問による家庭との連携強化
- 生徒・保護者・地域に対する「親切・丁寧」な挨拶と対応
- 職員の心と体の健康管理に努め、ワークライフバランスを推進する。